

31H 樋詰 遥 33H 小笠原 瑞樹  
34H 本多 りあ 35H 町駒 陸 36H 大松 美咲

■課題

医療の利便性が低いことによって、能登の人口が他地域へ流出してしまっている。

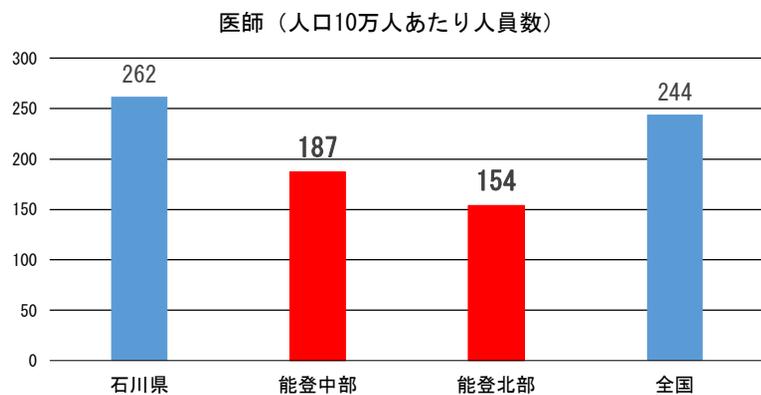
■解決策

在宅医療(リモート)を活用した診療を行うことにより、医療の利便性向上を通して能登地域の永住性も向上させる。

■現状(課題の背景)

1、能登の医師数の少なさ

表1 石川県地域と全国の人口10万人あたりの医師数・病院数



石川県 | 地域医療情報システム (日本医師会) <https://jmap.jp/cities/detail/pref/17>

能登中部・能登北部は石川県・全国と比べて、人口10万人あたりの医師の数が少ないことが分かる(表1)。

→能登の診療の効率の向上が求められる。

2、能登の無医地区について

能登には**無医地区**が8地区ある(表2・図1)。

**無医地域**: 半径約4Km以内に50人以上の住民が暮らしており、かつ、日常的に診療を受けることが出来る医療機関がない地域のこと。

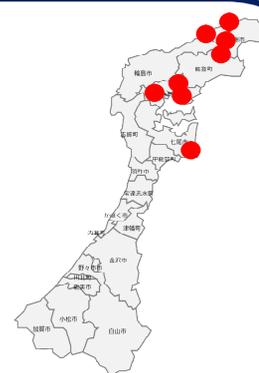


図1 石川県の無医地区

表2 石川県内の無医地域数の内訳

	石川中央 かほく以南白山以北	能登中部 七尾以南宝達以北	能登北部 穴水以北	計
無医地区数(区)	2	1	7	10

第二回情報通信先進地域「奥能登」を目指す調査研究会「奥能登」の医療 [https://www.soumu.go.jp/soutsu/hokuriku/img/resarch/okunoto/2st/data2-5\\_1.pdf](https://www.soumu.go.jp/soutsu/hokuriku/img/resarch/okunoto/2st/data2-5_1.pdf)

→能登の医療における利便性の向上が求められる。

■具体的内容

〈リモート診療〉

○研修を行う

○必要なアプリ・ツールの普及



<https://www.yadoc.jp/>  
<https://clinics-support.medley.life/hc/ja/articles>  
<https://app.curon.co/guide>

Q. 家にいながら電話や電子メール、テレビ電話で、かかりつけ医の相談や、看護師・栄養士による健康相談、介護相談をされたことがありますか

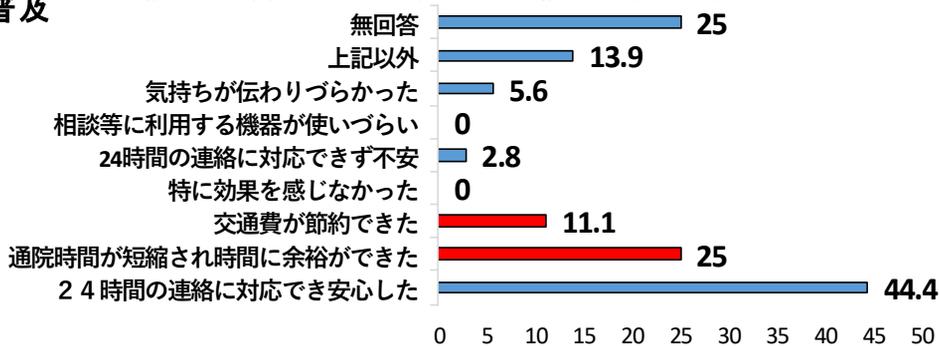


図2 遠隔医療に関するアンケート調査 (%)

■効果

遠隔医療に関するアンケート調査では、患者の方が実際に受診までの交通費や、待ち時間の大きな削減ができた事例がある(図2)。能登からの診療、特に無医地域から診療する場合に、これと同様なことが起きると考えている。

さらに、リモート診療は訪問診療に比べて医師の移動時間が短縮でき、その結果一人あたりの医師が対応可能な患者数が増えるため、効率的に医療の受診を行うことができる。

これにより、能登地域の医療の質が向上し、能登地域における生活利便性と永住性が高くなる。

→能登の人口流出抑制に繋がる！！

■参考文献

在宅療養のメリットとは？推進される理由と求められる必要性 | 京都大原記念病院グループ・ニュース | 京都大原記念病院グループ / ([kyotoohara.or.jp](http://kyotoohara.or.jp)) / 遠隔医療に関するアンケート調査 ([soumu.go.jp](http://soumu.go.jp)) / アンケート結果発表 | [Nursing-plaza.com](http://Nursing-plaza.com)  
[https://www.soumu.go.jp/main\\_sosiki/joho\\_tsusin/policyreports/chousa/telemedicine/pdf/080521\\_2\\_si7\\_2.pdf](https://www.soumu.go.jp/main_sosiki/joho_tsusin/policyreports/chousa/telemedicine/pdf/080521_2_si7_2.pdf)